

市誌編さんだより Vol.9

専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生・中高生と聞き書き調査・執筆を行っています。奇数月の1日号にて編さん状況を紹介しています。

新しい市誌編さんのプロジェクトが始まって早2年。これまでの調査からみえてきた高浜の姿、人々のくらしぶりなどについて、中間発表をかねて、下記の行事を開催します！

たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム

「窯業のまち・たかはま」の産業風土とまちづくり

高浜市は、「三州瓦」の主要産地で、江戸時代以来、江戸(東京)を一大消費地として現代まで発展してきました。また明治時代以降は瓦だけでなく、土管や日用土器の生産も手掛けていました。

今回のシンポジウムでは、「窯業のまち」という特色を生み出し、現代まで継承してきた「高浜市の産業風土」について考え、その特色をいかしたまちづくりの可能性をみなさんと語り合います。

と き：12月8日(土) 午後1時30分～4時30分

ところ：かわら美術館 1階 ホール

<申込不要・入場無料>

第1部

基調講演 「鬼が集い、笑う郷 たかはま
一技芸輝く 甕が誘う 現代文明開化の泉一」

講師：宮川 泰夫 氏

(皇學館大学(日本学)・九州大学大学院(比較社会文化論)
・愛知教育大学(地理学) 名誉教授)

第2部

研究発表 「高浜における現代の瓦産業の展開と地域社会」
講師：高木 秀和 氏 (高浜市誌 近世・近代・現代部会 調査執筆員)

第3部

パネルディスカッション

コーディネーター：曲田 浩和 氏 (高浜市誌編集委員会 委員長)



「窯焚き」(写真) 20世紀
高浜市立郷土資料館蔵

高浜市誌生活誌部会 聞き書きプロジェクト成果報告会

「高浜のやきもの産業とくらし」

市民の語りを記録として残す「聞き書き」調査。平成30年度は、土管やいぶし瓦、屋根葺きなど、高浜のやきもの産業を、そこにある「人々のくらし」にも目を向けつつお話を伺いました。

語りからみえた高浜の過去、そして未来とは…?

当日はぜひ、会場の皆さんもかつての風景・仕事・風習などの思い出を教えてください。

と き：12月8日(土) 午前10時～正午

ところ：かわら美術館 1階 ホール

発表者：名古屋市立大学 学生の皆さん

<申込不要・入場無料>



- ◇自宅などに高浜市に関する資料(とくに明治時代～昭和)がありましたら、ぜひ情報を寄せてください。
- ◇資料整理、調査、聞き取りなど、「市誌編さん事業に興味がある!」「参加したい!」という方は連絡してください。
- ◇市誌編さん事業に関する詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています!